

再評価結果（平成17年度継続事業箇所）

担当課：中部地方整備局 建設部 都市整備課
担当課長名：筒井 祐治

事業名	あさひちゅうおう線 朝日中央線		事業区分	街路	事業主体	三重県
起終点	自：三重県三重郡朝日町大字柿字元田地内 至：三重県三重郡朝日町大字柿字山王谷地内				延長	750m
事業概要	<p>都市計画道路朝日中央線は、国道1号北勢バイパスを起点として朝日町の中心地を縦貫し、桑名都市計画道路桑部播磨線へ連絡する都市内幹線街路であり、国道1号北勢バイパス及び伊勢湾岸自動車道みえ朝日ICへのアクセス機能を有するなど、重要な道路ネットワークとしての役割を担うとともに、鉄道との立体交差化により地域の交通安全を確保する等、朝日町及び周辺地域のまちづくりに資する道路として、昭和46年に都市計画決定されている。</p> <p>朝日中央線街路事業は、朝日町役場付近からJR関西本線を跨線橋で立体交差して県道四日市朝日線へ接続する延長750mの区間について整備を行うものである。</p>					
H7年度事業化	S46年度都市計画決定 (H11年度変更)		H7年度用地着手		H10年度工事着手	
全体事業費	約24億円		事業進捗率	95%	供用済延長	約200m
計画交通量	7,500台/日					
費用便益比	B/C	総費用	総便益		基準年	
	6.7	28.1億円 事業費：27.5億円 維持管理費：0.6億円	189.6億円 走行時間短縮便益：132.6億円 走行費用減少便益：23.7億円 交通事故減少便益：33.3億円		平成16年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（国道1号北勢バイパス等へのアクセス機能向上） 都市の再生（土地区画整理事業による沿道まちづくりと連携） 個性ある地域の形成（鉄道立体交差による地域の一体的発展及び交通円滑化の確保） など					
関係する地方公共団体等の意見	国道1号北勢バイパス、伊勢湾岸自動車道みえ朝日インターが供用開始し、また、同時に道路事業で整備している四日市朝日線が、平成17年度早々に全面供用開始予定であることから、当路線についても早期の完成を要望されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成14年度末での国道1号北勢バイパス、伊勢湾岸自動車道みえ朝日インターの供用開始をはじめとして、周辺の道路網整備が着実に進められるとともに、区画整理事業による宅地供給も開始され、新しい地域づくり・まちづくりが進められている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成17年度に舗装等の工事を実施し、事業完了予定である。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成14年度に用地買収を完了して工事を進めており、平成17年度には事業を完了し全線供用開始予定である。					
施設の構造や工法の変更等	発生残土を、近隣の他工事の盛土材として有効活用するなどによりコスト縮減を図った。					
対応方針	事業継続					
事業概要図	<div style="text-align: center;"> <p>朝日中央線 L = 750m</p> </div>					

